

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 放課後子ども総合プランの取り組みについて (30分)</p> <p>昨年12月議会の一般質問で、少子化が進み、地域の中での子育て環境が変わってきている現在、鶴ヶ島で子どもを育てていくための後押し、子育て世代に魅力のあるまちづくりについてうかがいました。</p> <p>プレーパークの取り組みについて、教育部長から「放課後子ども教室」のあり方を検討していること、そして、文部科学省と厚生労働省によって策定された「放課後子どもプラン」についての説明がありました。</p> <p>この、放課後子ども総合プランに至るまでの経過をたどってみると、子ども自身とその保護者を取り巻く生活環境の課題がみえてきます。</p> <p>文部科学省では、平成16年から緊急3カ年計画として「地域子ども教室推進事業」を実施しました。その後、平成19年度より、「放課後子ども教室推進事業」を創設しています。これは、子どもたちに関わる重大事件の続発、そして、地域や家庭の教育力が弱まっていることへの解決策でした。</p> <p>また同時に、待機児童の問題が表面化してきています。</p> <p>女性の働く力を最大限発揮するため、安全で安心して児童を預けることができる環境を整備することは、保護者をとりまく課題です。</p> <p>放課後子ども総合プランは、「共働き家庭等の児童に限らず、全ての児童が放課後等における多様な体験・活動を行うことができるようにすることが重要であり、全ての児童を対象として総合的な放課後対策を講じる必要があります。」とし、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を示しています。これを見て、子育ては、家庭だけではなく地域社会全体の役割りであると受け止めております。</p> <p>今年度から始まっている「放課後子ども教室運営委員会」の進捗とともに、本市の10年間の取り組みについてうかがいます。</p> <p>(1) 放課後子ども教室の取り組み経過について  ア 地域子ども教室推進事業について  イ 放課後子ども教室推進事業について</p> <p>(2) 放課後子ども総合プランの取り組みについて  ア 放課後児童クラブの現状と課題は  イ 放課後子ども教室の現状と課題は  ウ 全ての児童の放課後対策について</p> <p>(3) 放課後子ども教室運営委員会について</p> <p>(4) 子育て世代に魅力のあるまちづくりについて</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 埼玉県ふるさと雇用再生基金市町村補助事業 「農や自然を活かしたまちづくり事業」の成果について(30分)</p> <p>第5次鶴ヶ島市総合計画施策26に「農を通じたふるさとづくりの推進」が掲げられております。また、昨年策定された第2期鶴ヶ島市環境基本計画においても市民1人当たりの緑地率の向上を目標としております。ここでは農地等を含んでおりませんが、緑被率として自然度をみると農地は広大な緑地です。</p> <p>手元に資料として頂いております「埼玉県ふるさと雇用再生基金補助事業」の報告書は、株式会社地域協働推進機構による「平成23年度、農や自然を生かしたまちづくり事業」の成果と課題、そして提案の内容となっております。</p> <p>農や自然を生かしたまちづくりビジョンの冒頭に「有機農業の推進」が挙げられています。また、六次産業化と並び、学校給食への導入など農業交流センターを核とした鶴ヶ島農サイクルが提案されています。</p> <p>農業実態調査やマーケティングの事業展開の基礎の上に、様々なプランがまとめられております。その後の展開に期待が持てる内容であると思っております。</p> <p>当市の農業の現状は、この20年で農地が391haから133haに減少しています。有機野菜を作る方は増えていると聞いておりますが、今後の可能性について質問します。</p> <p>(1) 農ビジネスの立案について (2) 農業活性化策の実証と事業提案について (3) 有機農業の可能性について</p>	市長